



第59回 全国高等学校バスケットボール選手権大会

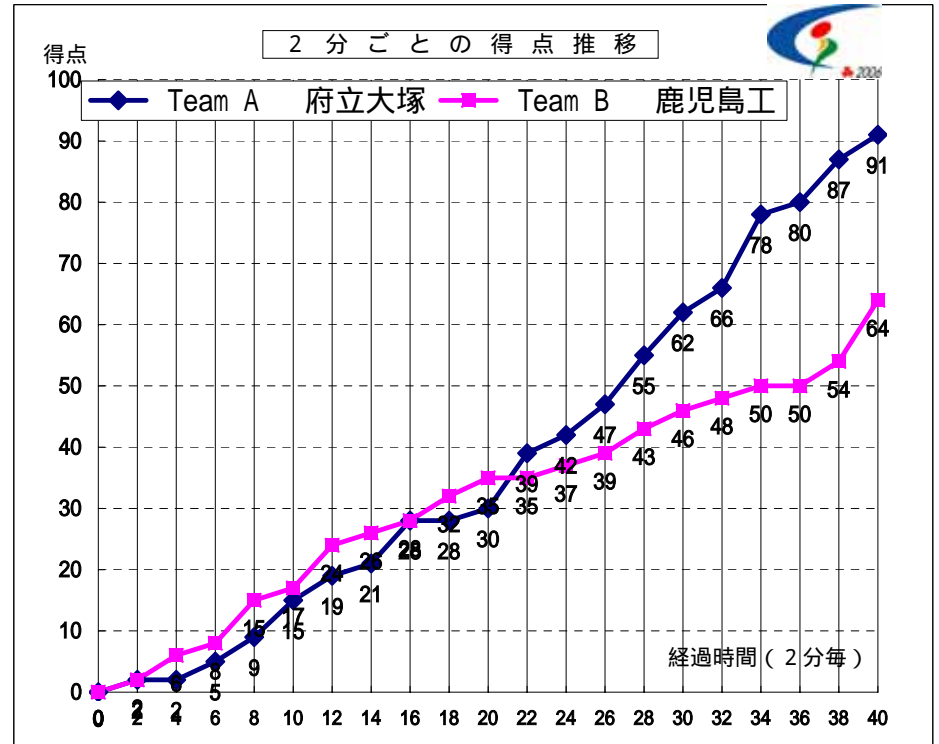
男子 1回戦

試合日 2006年8月2日
 開始時間 11:10
 会場 大阪府立体育会館
 コート Bコート
 試合順 2 試合目

Team A		Team B
府立大塚	91	64
大阪府		鹿児島工
		鹿児島県

S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
			4	東 翔太	0	0	0	0		0	0	0					
5	荒巻 大輝	12	0	2	6	15	0	0	2	4	9	13	3	3	3	5	37.0
6	井上 敬太	6	2	2	0	2	0	0	3	0	1	1	1	3	0	2	17.0
7	松本 智章	22	3	11	5	8	3	3	3	0	4	4	2	3	0	2	28.5
8	由良 拓巳	9	0	1	4	6	1	2	1	2	2	4	9	4	0	5	34.0
9	伊藤 秀平	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2.0
10	横谷 充紀	6	0	1	2	5	2	2	0	1	1	2	0	0	0	0	8.0
11	板谷 修平	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1.5
12	山田 崇文	16	0	1	8	10	0	0	1	2	5	7	4	0	0	2	28.0
13	佐藤 充	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0
14	田中 真人	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	0	0	1	9.0
15	木田 晶久	18	3	3	4	5	1	3	3	0	4	4	1	1	2	2	31.5
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:									0	4	3	7				1	
合計		91	8	22	30	52	7	10	15	15	30	45	23	14	5	21	200
RATE			36.4%		57.7%		70.0%										

Team B 鹿児島工		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
S	選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	山田 正文		2	0	1	1	1	0		0	3	0					
5	福永 秀樹	8	0	0	4	6	0	0	2	2	3	5	0	2	1	4	34.0
6	佐多 祐樹	14	4	12	1	5	0	0	1	0	4	4	3	0	1	8	38.0
7	福永 晃史	30	1	3	12	30	3	8	1	6	9	15	1	1	1	1	40.0
8	坂元 佑輔	4	0	0	1	2	2	4	1	0	2	2	2	0	0	1	11.5
9	喜志 恵太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	石原 亮志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	中村 翔太	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.5
12	中深迫 諒太	2	0	2	1	5	0	0	5	1	3	4	1	1	1	2	28.5
13	寺師 孝治	4	0	0	2	2	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	2.5
14	東 和馬	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1	3	0	2	11.5
15	有馬 啓太	0	0	1	0	3	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	7.5
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:									0	6	2	8				0	
合計		64	5	21	22	54	5	12	16	17	26	43	11	11	5	23	200
RATE			23.8%		40.7%		41.7%										



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	4:46	35:04				
TeamB	14:55	21:21	31:57			

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

地元大阪を制し初出場を決めた大塚に対し、同じく鹿児島工も念願の初出場と、初出場校同士の対戦となった。

第1P。大塚オールコートマンツーマンに対し、鹿児島工はハーフコートマンツーマンでスタート。両チーム硬さからミスが目立つ。大塚#5荒巻・鹿児島工#7福永が1対1で得点するが、ミドルシュートが決まらない。残り3分、鹿児島工は#6佐多の連続3Pなどで9対15とするが、大塚も#6井上の3Pで追い上げ、15対17鹿児島工リードで第2Pへ。両チームディフェンスでの頑張りが目立ち、大塚は#5荒巻の1対1や#15木田の3Pで得点するのに対し、鹿児島工は#7福永の1対1を中心に得点する。残り3分、28対28大塚同点とするが、鹿児島工センター#12中深迫のゴール下・#6佐多の3Pで30対35鹿児島工リードで前半終了。

第3P。大塚ディフェンスを2-2-1ゾーンプレスとし、#12山田の連続ゴールで2分、39対35と逆転。鹿児島工タイムアウト。ディフェンスを1-3-1ゾーンとする。大塚は鹿児島工のゾーンに対し、しっかりとしたボール回しから#7松本・#15木田の3Pでじりじりと差を広げ、62対46大塚リードで第4Pへ。鹿児島工の#7福永の1対1に頼るオフェンスに対し、大塚はしっかりとしたボール回しから確実に得点し、3分、78対50とリードを広げる。鹿児島工はオフェンスリズムを立て直そうとするが単発な攻めとなり、逆に大塚はリバウンドからの速攻で一方的な試合に持ち込む。一試合を通じ、大塚がディフェンスを頑張り、初出場対戦に勝利する。

主審	山崎 人志	副審	内田 達彦	戦評	河合 良彦
----	-------	----	-------	----	-------